

令和8年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野		開講時期	1年後期	
授業科目名	臨床看護総論		単位数	1単位	
			時間数	30時間	
講師名	菊池 宏美	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許
		職名	専任教員		
事前学習内容					
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく					
科目全体のねらい					
対象を、生活者として人生を生きている人と理解する					
対象の変化する身体状態や心の動きをイメージしながら、臨床の場と看護を理解する					
教育目標との関連					
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。					
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。					
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。					
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。					
科目目標					
臨床看護と何かを理解する					
臨床看護における対象者を理解する					
臨床看護の場を理解する					
健康障害の経過からみた看護を理解する					
日常生活に影響を及ぼす障害と看護を理解する					
回	授業内容			方法	
1	ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ			講義	
2	家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ			講義	
3	健康状態と看護、急性期における看護			講義	
4	回復期における看護、慢性期における看護			講義	
5	呼吸・循環に関連する症状を示す対象者への看護			講義	
6	栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護			講義	
7	活動や休息に関連する症状、認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護			講義	
8	コーピングに関連する症状を示す対象者への看護			講義	
9	輸液療法を受ける対象者への看護			講義	
10	放射線療法、手術療法を受ける対象者への看護			講義	
11	事例による看護実践の展開			講義	
12	臨床判断モデルを取り入れた実践展開（呼吸機能）			演習	
13	臨床判断モデルを取り入れた実践展開（循環機能）			演習	
14	臨床判断モデルを取り入れた実践展開（栄養・代謝）			演習	
15	意識障害			演習	
受講上の注意			評価方法	筆記試験 100点	
使用するテキスト					
臨床看護総論（医学書院）					
参考文献					

*病院での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する